

第4回学園運営協議会

2025.11.19



授業訪問の感想

○教室環境が整っていた。低学年は静かに、高学年は児童が積極的に発言する雰囲気での学習が進んでいた。

○社会科や道徳の授業は興味深い内容で、もっと教室で授業を見ていたいと感じた。

○どのクラスも落ち着き、集中していた。低学年の時から友達の見聞を聞く態度の積み重ねがあるから、安心して発表ができていると感じた。

○低学年は先生がゆっくり丁寧に授業を進め、高学年は学ぶことが楽しくなる授業の工夫があった。

子供が参加する学園運営協議会

- 【意義】
- ◎児童生徒が参加すると大人にはない発想が生まれる。
 - ◎家庭にまで話題が届くことが期待できる。
 - ◎子供にとっても、学園にとっても、メリットが大きい。

- 【議題】
- ◎児童生徒の発表や協議議題は全校で意見集約がよい。
 - ◎1学期の総合やまつりなど地域貢献活動をテーマに。
 - ◎不登校をテーマにすると、子供が当事者として参加し、子供たちからも様々な意見が出るのではないかな。

- 【意見】
- ◎生徒会、児童会だけでなく、子供たちの中に「CS委員会」を設けてもいいのではないかな。

○学園運営協議会に子供が参加することは、子供自身が当事者として学園の課題について考える機会となり、民主的な学園づくりにつながると思う。



運営協議会の様子